

# 日大土木会会報

発行：日大土木会広報部会

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8

日本大学理工学部土木工学科内

TEL：03-3259-0662

FAX：03-3293-3319

http://www.nu-dobokukai.com

## 平成21年度 日大土木会通常総会開催

会長挨拶 松田慎一郎

平成21年度日大土木会通常総会が平成21年6月26日金曜日午後5時30分から日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階の二一会議室において開催された。

総会は総務部長鎌尾彰司氏の司会により開始され、松田慎一郎会長の挨拶に続き、盛武建二氏が議長に選任され、盛武建二氏の議事進行に基づき第1号議案平成20年度収支報告・事業報告・監査報告、第2号議案平成21年度事業計画、第3号議案平成21年度予算案、第4号議案その他と続き、各議案とも満場一致で了承され、約20分で無事終了した。

第1号議案のうち、平成20年度収支決算は表1のとおりである。また、第3号議案の平成21年度予算案は表2のとおりである。

なお、会員の増減は、会員数一六〇三人（平成21年3月31日現在）で、平成20年度内増減異動について入会0人退会22人であった。

その後午後6時30分より松田慎一郎会長の発声によって懇親会が開催され、約1時間にわたり会員相互の懇親が深められ、森元峯夫前会長の挨拶により閉会した。



日大土木会の会長をおおせつかつております松田でございます。本日は大変お忙しい中、土木会総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。土木会は平成12年3月17日に設立総会が開催され、活動を開始いたしました。



早いもので9年を経過しております。この間、会員の皆様の積極的な参加により、各部会を中心に活発な活動を重ねて参りました。会長として会員各位のご努力に重ねて御礼申し上げます。

さて、皆様ご存知のように、土木会は、我国の土木技術の発展とその国際化を通じて、自己研鑽を持って母校日本大学の発展に寄与することを目的としております。こうした目的を実現するため、に大学との連携を強化し、在学中の学部生や、大学院生に対して特別講義を実施するとともに優れた修士論文に対して土木会として表彰を行うなど研究・学習の奨励に貢献し

表1 収支決算総括表

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

収入	2,739,113 円
支出	1,000,810 円
次年度繰越収支差額	1,738,303 円

1) 収入の部 金額単位：円

科目	予算額	決算額	増減
会費収入	1,200,000	1,180,200	▲ 19,800
総会収入	300,000	58,000	▲ 242,000
雑収入	0	757	757
前年度繰越金	1,500,156	1,500,156	0
収入合計	3,000,156	2,739,113	

2) 支出の部 金額単位：円

科目	予算額	決算額	備考
1. 事業費	1,100,000	646,863	
会議費		131,510	総会、部会委員会費等
印刷製本費		224,443	総会案内等
教育補助費		250,000	各学部教育補助
講演料		5,000	特別講演等
ホームページ等		35,910	サーバルレンタル等
出張旅費		0	
2. 管理費	300,000	353,947	
消耗品費		63,002	事務用品・封筒
通信運搬費		254,580	総会案内発送
手数料		1,365	振込手数料
アルバイト		35,000	会報補助・名簿整理
3. 予備費	100,156	0	
4. 次年度繰越額	1,500,000	1,738,303	
支出合計	3,000,156	2,739,113	

て参りました。今後ともこうした活動を通じて若者に土木の面白さ、意義を出来るだけ素直に伝えたいと考えております。一方、実社会では、土木をめぐる状況は必ずしも順調とはいえません。地震や台風が頻りに襲撃するわが国において、インフラの整備が今後とも不可欠であることは言うまでもないことです。

土木会としては、今後とも全員力をあわせて、わが国土の発展のために、そして心の古里、母校日本大学の発展のために、協力する体制を整えてゆきたいと考えております。今後とも何卒、よろしくご協力賜りますよう、お願い申し上げます。簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。



### 特別講演会で 大沢専任講師

平成二十一年度総会に引き続き、特別講演会が開催され

ました。本年の講師は理工学部土木工学科専任講師の大沢昌玄先生で、「人をつなぎ、後世に引き継ぐ都市へー土木の総合商社・都市への夢」というタイトルで行われました。大沢先生は、昨年に学位を取得され、さらに本年学会賞を2件受賞するなどこれからの活躍が期待されるそうです。

表 2 予算案

1. 収入の部 金額単位：円

科 目	平成 21 年度予算額	平成 20 年度予算額	備 考
収入			
会費収入	1,300,000	1,180,200	年会費
雑収入	100,000	58,757	総会費・利息
前年度繰越収支差額	1,738,303	1,500,156	
収入合計	3,138,303	2,739,113	

2. 支出の部

科 目	平成 21 年度予算額	平成 20 年度予算額	備 考
事業費	1,000,000	646,863	総会・委員会・印刷製本・講演料・活動支援・旅費等
管理費	400,000	353,947	消耗品・通信運搬・アルバイト等
予備費	100,303	0	
次期繰越金	1,638,000	1,738,303	
当期支出合計	3,138,303	2,739,113	



日大土木会奨励表彰式（理工土木学位記伝達式より）

**日大土木会の教育支援事業**

教育支援事業の一部に使ってもらうために、理工学部土木工学科に10万円、理工学部社会交通工学科に5万円、工学部土木工学科に5万円、生産工学部土木工学科に5万円を日大土木会の事業費から25万円が寄贈された。理工土木では優秀な研究成果を修めた大学院生を表彰する日大土木会奨励賞として、理工社会交通では就職に関する講演会（四月）と懇談会費用の一部として、生産土木では学部生、大学院生を対象としたOB講演会の経費の一部として、また工学部土木では新

**学生の進路**

各学科より平成二十年度の就職状況を報告していただきましたのでお知らせします（表3）。各学科ともに学科の特色が現れている就職状況になっています。本会においては、引き続き学生の就職支援を大きな事業の一つとして、各学科を積極的にバックアップしていきたいと思えます。ご意見等がありましたら総務部会長まで連絡願います。

入学学生の土木工学の修学意欲の高揚を目的に実施した外部講師（土木会OBによる）ゼミナールの講師招聘の経費の一部として寄金が有効に活用されている。

表 3 平成 20 年度の就職状況

分類	理工土木			理工社会交通			工学部土木			生産土木		
	学部	院	合計	学部	院	合計	学部	院	合計	学部	院	合計
1. 建設業、設備工事業	66	5	71	8	3	11	79	1	80	93	3	96
2. 製造業（製鉄、セメント）	4	1	5	4	1	5	7	0	7	9	1	10
3. 電気、ガス	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 運輸、通信	18	3	21	32	0	32	4	0	4	15	1	16
5. 不動産業	16	0	16	3	0	3	4	0	4	6	0	6
6. コンサルタント、サービス業	35	4	39	36	4	40	13	3	16	23	6	29
7. 商社、金融、保険、卸売、小売業	5	0	5	6	1	7	4	0	4	12	0	12
8. 公務員	64	13	77	10	3	13	4	2	6	14	2	16
9. 公団、公社、独立行政法人	2	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0
10. その他	18	2	20	13	1	14	27	3	30	5	0	5
11. 進学	19	0	19	23	0	23	14	0	14	23	0	23
合計	256	28	284	136	13	149	157	9	166	200	13	213

単位（人）